



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.664 2022.12.7

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

住民の 願いに どう応える？



区議会第4回定例会 住民陳情の審査結果

5日に閉会した区議会第4回定例会に10本の住民陳情が出され、各所管委員会で審査。日本共産党は積極的に採択を主張しました。消費税を5%に引き下げを求める陳情と、中小業者やフリーランスに消費税の納税が取引からの排除かを迫るインボイス制度の中止を求める陳情は、いずれも自民、公明、都ファが不採択を主張し、結果は不採択に。別に提出されたインボイス延期を求める陳情は継続となりました。補聴器購入費用助成を求める陳情に採択を主張したのは共産のみ。公明は代表質問で助成の実現を区長に迫りながら、陳情では継続を主張しました。小中学校の卒業証書入りを公費負担することを求める陳情は、共産以外が継続・不採択を主張し、継続となりました。(のの山けん)

■ 北区議会第4回定例会 所管委員会における住民陳情審査の態度表明と結果（主なもの）

消費税の5%への引き下げを求める陳情

結果は × 不採択

共産	自民	公明	立憲	都ファ
採択	不採択	不採択	継続	不採択

※立憲は最終本会議では「不採択」を表明

インボイス制度の中止を求める陳情

結果は × 不採択

共産	自民	公明	立憲	都ファ
採択	不採択	不採択	継続	不採択

※立憲は最終本会議では「不採択」を表明

補聴器購入費用の助成を求める陳情

結果は ▲ 継続審査

共産	自民	公明	立憲
採択	継続	継続	(欠席)

卒業証書入りの公費配布を求める陳情

結果は ▲ 継続審査

共産	自民	公明	立憲	無所属	維新
採択	継続	継続	継続	継続	不採択

請願・陳情とは

請願・陳情は、区民が議会に対し、施策の実現を要望することができる制度です。議会ではこれらを審査・議決し、議会としての態度を決定します。採択、趣旨採択、不採択のいずれも過半数に満たない場合は継続審査となります。

補助86号線(志茂地区) 認可取り消し裁判

控訴審が終結

判決は
2023年
3月3日

志茂1丁目を分断する特定整備路線・補助86号線(志茂地区)の認可取り消しを求める住民裁判は、11月30日に東京高裁で最終の口頭弁論を行い結審。判決は来年の3月3日に言い渡されます。弁護団が行った最終弁論のポイントを紹介します。(のの山けん)



本件では、必要のない道路が必要な手続きも行われず整備されようとしていることが問われています。

交通円滑化のために整備する必要なし

事業認可の前提とされている昭和41年決定は、交通の円滑化を目的としていましたが、平成15年の東京都の調査で交通円滑化の必要はなしと判断され、第三次事業化計画では優先整備路線からも外されました。



高裁での第1回口頭弁論に臨む原告団 = 2019年11月8日

都市計画を決定した目的が失われているのです。

延焼遮断帯として整備する必要もない

次に東京都は「延焼遮断帯の設置」を目的に整備すると主張。しかし、志茂1丁目は、すでに不燃領域率70%を超え、周辺には延焼を遮断する既存インフラや道路が広がっています。整備の必要も合理性もない計画は違法であり、認可は取り消されるべきです。

原告団の意見陳述(要旨)

住民の意見聞くのが民主主義

原告団長 豊崎 満さん

行政はまともな調査、予測をせず事業を強行しました。地域住民の要望を聞かないその手法は、断じて許すことはできません。行政は話し合おうとすると説明も反論もせず、一度決定すれば肅々と事業を推し進め、担当者は次々に交代、新任者は無表情に住民に接してきました。一度決定したら変更できない体制は改革すべきで、住民の意見をとことん聞くのが民主主義の基本です。行政が間違いを正すことを願っています。

延焼遮断の計画は「まやかし」

原告副団長 中田 守喜さん

延焼遮断の計画は、一部の住民に負担を強いる原始的な「建物疎開」であり、防災が進んだ現在の社会環境になじむものではありません。志茂1丁目は不燃領域率70%を超えています。正しく燃えない町へと成熟しているのです。ムダな計画をやめて、社会保障の充実やインフラ整備を急ぐことが行政の役割だと思います。

延焼遮断という「まやかし」で、善良な住民を不安に巻き込むのは、やめて頂きたい。